



琉球泡盛テロワールプロジェクト ～泡盛原料米の県内生産を推進～

沖縄の象徴的な文化の1つである琉球泡盛は、主にタイからの輸入米を用いて製造されていますが、今後、泡盛の海外への輸出を進めていくためには、泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限にPRしていく、地域に根ざした原料調達、いわゆる「テロワール」を実現することが極めて重要な課題となっています。

このため、泡盛の原料となる長粒種米の沖縄県内での生産を進めることを目的に、平成31年1月27日、沖縄総合事務局において、県内の米産地の市町村長や生産者団体、泡盛製造業者や行政関係者など約130名の参加を得て、「琉球泡盛製造のための長粒種米の生産に係る説明会」を開催しました。



沖縄の水田



琉球泡盛テロワールプロジェクトについて説明する宮腰大臣

本説明会では、宮腰大臣から「琉球泡盛テロワールプロジェクト」の立ち上げについて説明し、その後、農林水産省、沖縄県などの担当者から長粒種米の試験栽培の取組状況や長粒種米を栽培した場合の生産者の収入試算などについて説明がありました。

参加者からは、原料米の栽培技術の確立、安定供給などについて意見がありました。

今後は、プロジェクトチームにより、泡盛製造業者の需要と生産者の供給をすり合わせるマッチングを行い、プロジェクトを進めていくこととしています。

宮腰大臣の沖縄訪問

1月26～27日：
沖縄本島・久米島訪問



車老養殖場(久米島)



海ぶどう養殖施設(久米島)

平成31年1月26日から27日にかけて、宮腰沖縄担当大臣は沖縄本島と久米島を訪問し、琉球泡盛製造のための長粒種米の生産に係る説明会、琉球泡盛海外輸出プロジェクト会合、首里城公園(御内原地区など)開園記念式典に出席したほか、久米島の製糖工場や海洋深層水関連施設などを視察しました。

また2月2日から3日には、北大東島及び南大東島を訪問し、南大東漁港(北大東地区)開港式に出席したほか、さとうきび圃場や水利施設、製糖工場、植物テナ工場などを視察しました。

なお、宮腰大臣は大臣就任以前も含めて、通算15回目となる南北大東島訪問となりました。

2月2～3日：
北大東島・南大東島訪問



南大東漁港(北大東地区)開港式



大東糖業(株)工場(南大東島)

☆「OKINAWA41」にご注目ください!☆

内閣府で運営しているウェブサイト「OKINAWA41」では、フォトコンテストや現地レポートなどで、沖縄の知られざる魅力を発信しています。来たる3月22日には、フォトコンテストなどの表彰式を東京にて開催予定です! 「OKINAWA41」へは右のQRコードか、URL (<https://www.okinawa41.go.jp/>) からどうぞ。

